

沖縄コレクション関連イベント

平成 29 年 2 月 2 日（木） ジョージ・ワシントン大学 Elliott School 6 階

1 公開セミナー

沖縄関連研究者及び学生等を対象に、公開セミナーを実施し、知事から「沖縄の基地問題」について講演を行い、引き続き辺野古新基地建設に反対していく県の姿勢及び辺野古新基地建設を巡る沖縄の状況について説明しました。

また、富川政策参与からは「沖縄経済の将来とアジア一脱基地依存の展望」をテーマに、経済の視点から沖縄の基地問題についての講演を行いました。

公開セミナーには、120 名以上の方々に参加いただき、講演後の質疑応答においては、参加者から辺野古新基地建設問題、日米安全保障に関する質問等がありました。

平成 29 年 2 月 3 日（金） ジョージ・ワシントン大学 図書館 1 階

2 ワークショップ

沖縄コレクションの利活用の促進を図るため、今後の方針や展望について、米国内大学教授、沖縄関係研究者及び図書館司書等の有識者 19 名でワークショップを開催しました。

午前のセッションでは、冒頭で知事が挨拶を行い、今回の訪米の目的と沖縄コレクション設置の経緯や今後の展望について説明したほか、富川参与からは、公開セミナーに引き続き「沖縄経済の将来とアジア」について講演を行いました。

また、ジョージワシントン大学のマイク・モチヅキ教授からは、沖縄コレクションの現状と、今年公開されたホームページの紹介がありました。

午後のセッションでは、沖縄コレクションの利活用の促進に向けて、収集する書籍の選定、米国内大学及び図書館等関係機関との連携、利用者を増やすためのホームページを活用した情報発信などについて、有識者との間で活発な意見交換が行なわれました。



(公開セミナー講演後の質疑応答)

【今後の展望】

3 沖縄県としては、今回のイベントを通して、沖縄コレクションの更なる充実が図られ、より多くの研究者や、学生一般市民の方々にご利用いただくなど、ジョージ・ワシントン大学図書館が、米国における沖縄の図書資料の拠点となることで、米国において、基地問題を含む様々な沖縄の実情の理解が深まり、沖縄の基地問題の解決に向けた取組につながっていくことを期待しております。